

2006年7月13日

上面ヒーター運転時に加え、グリル運転時にも日立製 IH クッキングヒーターと連動運転 業界一^(※1) 静音の IH クッキングヒーター対応レンジフードファンを発売

日立アプライアンス株式会社（取締役社長：石津 尚澄）は、今回発売する日立製のレンジフード連動タイプの IH クッキングヒーターと組み合わせて使用した場合、上面ヒーター運転時に加えて、業界で初めて^(※1)、グリル運転時にも自動的に連動運転する静音型のレンジフードファン HQ-91SS を 10 月中旬から発売します。

本製品は、日立製 IH クッキングヒーター HT-A9TWFS・HT-A20WFS との連動運転が可能です。上面ヒーター運転時の「標準モード」に加え、グリル運転時の「強（グリル）モード」を新たに搭載し、IH クッキングヒーターの運転に合わせて、自動的にレンジフードファンの運転を切り替えます。また、日立独自の「トリプル整流板^(※2)」を引き続き採用しています。フード下面にすき間を狭く配置した 3 枚の整流板で、吸気のスPEEDを速くし、IH クッキングヒーター上面後方に配置されているグリル排気口からの蒸気や煙をしっかりと捕集するとともに、壁面の結露を発生しにくくします。運転音は、27dB（標準モード時）と業界一^(※1)の静音を実現しました。

(※1) 2006年7月13日現在。家庭用 IH クッキングヒーター対応レンジフードファンにおいて。

(※2) 整流板とは、フード内部の隙間を狭くし、吸気スPEEDを早くする板のこと。

■型式および発売日

型式	本体幅	本体希望小売価格（税込）	発売日	当初月産台数
HQ-91SS	90cm	162,750 円	10 月中旬	1,000 台

※据え付けには、本体の他に幕板などの部品が必要になります。

■需要動向および開発背景

2006 年度の IH クッキングヒーター対応レンジフードの総需要は約 12 万台（前年比約 118%）と、IH クッキングヒーターの普及につれ、大幅に拡大すると予測されます（日立調べ）。

当社でお客様に対し調査を行ったところ、IH クッキングヒーターの使用者においては、ガスコンロと比べ上昇気流が弱いため、強い吸い込み力を求めていることが分かりました。また、上面後方にグリル排気口があるため、グリル使用時に発生しやすい蒸気による壁面の結露を抑える要望が多いことが分かりました。そこで、高い捕集性能を実現するとともに、日立ならではの IH クッキングヒーターとの連動運転機能を充実させたレンジフードファンとして開発しました。

■主な仕様

型式	HQ-91SS		
外形寸法（mm）幅×高さ×奥行	900×680×630		
本体質量（kg）	23		
運転モード	強（グリル）	標準	弱
風量（m ³ /h）50/60Hz	610/610	350/350	200/200
運転音（dB）50/60Hz	37/37	27/27	15/15
消費電力（W）50/60Hz	95/95	70/70	50/50
排気方式	トリプル整流板方式		
センサースイッチ	○		
日立 IH クッキングヒーター連動	○ (HT-A9TWFS・HT-A20WFS の場合は「強（グリル）モード」も連動)		

■取り扱い事業部・照会先

日立アプライアンス株式会社 家電事業部

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号（日立愛宕別館）

電話／（03）3502-2111（代表）〔担当：浜田〕

■お客様からの問い合わせ先

お客様相談センター 電話／0120-3121-11

■レンジフードファンホームページ

<http://kadenfan.hitachi.co.jp/kankisen/range.html>

以上

(添付資料)

【IH クッキングヒーター対応レンジフードファン HQ-91SS の主な特長】

1. 高い捕集性能と結露しにくい日立独自のトリプル整流板

フード下面にすき間を狭く配置した3枚の整流板(*1)により、吸気スピードを速めて流れを良くする(図1)ことで蒸気や煙の高捕集を実現するとともに、本体の結露を抑えます。本体に結露しても結露水はオイルポケットで回収できます。

(*1) 整流板とは、フード内部の隙間を狭くし、吸気スピードを早くする板のこと。



【図1 本体の構成】

2. 業界初(*2)、上面ヒーターに加え、グリル使用時も連動運転(日立 HT-A9TWFS・HT-A20WFS と組み合わせ時)

従来(*3)から対応している、IH クッキングヒーターのレンジフード連動タイプとの連動運転が、本製品でも可能です。

IH クッキングヒーターで調理を始めると、本レンジフードファンも自動で運転します。また、IH クッキングヒーターの操作部で本レンジフードファンの操作ができます。

さらに、専用の赤外線コントロール信号を採用し、今回発売する日立製 IH クッキングヒーター HT-A9TWFS・HT-A20WFS と組み合わせて使用した場合、上面ヒーター運転時は「標準モード」、グリル運転時は「強(グリル)モード」と、業界で初めて、IH クッキングヒーターのグリル運転に合わせて、自動的に連動して運転を開始する機能を搭載しました。「強(グリル)モード」時は、IH クッキングヒーター上面後方に配置されているグリル排気口からの蒸気や煙をしっかり捕集するとともに、壁面の結露を発生しにくくします。IH クッキングヒーターの運転が終了した時は、自動的に3分間延長運転をして停止します。

(*2) 2006年7月13日現在。家庭用IHクッキングヒーター対応レンジフードファンにおいて。

(*3) HQ-90SS(2003年発売)。

3. 業界一(*2)の静音27dBを実現(標準モード時)

直径24cmの大口徑シロッコファンを採用したことで、「標準モード」時の運転音は27dBと業界一の静音を実現しました。「強(グリル)モード」時の運転音は、37dBになります。また、日立製IHクッキングヒーターと同時に使用しても、36dB(*4)を達成しました。

(*4) IHクッキングヒーターHT-A9シリーズの鉄鍋加熱時(35dB)、レンジフードファンの連動(標準モード)運転時(27dB)の組み合わせにおいて。

4. 様々なキッチンにフィットするよう、幕板タイプやマントルタイプ用の部材を用意

5. 環境への配慮

本製品は、使用する原材料がおよぼす環境への影響を低減するため、電子基板に無鉛はんだを採用し、また、六価クロムを含まない電気めっき鋼板やネジを採用するなど、EUのRoHS指令(*5)に対応しており、J-Moss(*6)に基づいてグリーンマークを表示しています

(*5) Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipmentの略。欧州連合(EU)域内で取り扱う電気・電子機器製品を対象に実施する有害物質規制のこと。2006年7月1日から、鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル)の6物質の使用が制限されています。

(*6) 日本工業規格(JIS C 0950:2005)「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
